



特集

わたしたちの地域を守る「消防団」

消防団は、消防本部や消防署と同じく、消防組織法に基づき市町村に設置される消防機関です。地域における防災リーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割を担っています。

特に大規模災害時は、発災直後の初期における地域住民相互の助け合い、人命救助や初期消火などの活動が被害の軽減につながります。例えば、平成7年の阪神・淡路大震災や23年の東日本震災では、消防団が地域に密着した日ごろの活動経験を生かし、倒壊家屋から数多くの人々を救出するなど、さまざまな活躍を見せました。

市内でも、24年の利根川上流での水質事故による断水時には、広報活動に奔走し、25年の竜巻被害発生時には、いち早く現場に駆けつけ、被災された方々の力となりました。

こうした活動により、地域密着性や大きな動員力を有する消防団の役割の重要性が再認識されています。

